

令和4年8月豪雨災害を踏まえた梯川水系流域治水対策検討部会（第2回） 議 事 概 要

1 日時：令和4年11月28日（月）16:00～17:00

2 場所：小松市公会堂 4階 大会議室

3 出席者：別紙「出席者一覧名簿」のとおり

4 議題

- (1) 梯川水系緊急治水対策プロジェクト（案）について
- (2) 今後の予定について

5 議事概要

- (1) 梯川水系緊急治水対策プロジェクト（案）について

- 1) 事務局より、梯川水系緊急治水対策プロジェクト（案）について説明。
（資料－1）

- 2) ご意見やご質問について

小松市長より

今回の大雨災害を踏まえ、梯川本川・支川一体となった緊急治水対策プロジェクトのとりまとめについて、関係機関の皆様へ感謝する。

本プロジェクトにより、今後の治水対策について具体的な内容が国・県から示された。

計画では令和13年度までの取り組みとなっているが、早期効果の高い取り組みについては、住民の皆様への安全安心につながるため、可能な限り前倒しで進めてもらいたい。

この治水対策の内容については、被災された市民に対し、早期に伝えていく必要があり、関係各位のご協力をよろしくお願いしたい。小松市としても、広く周知するために「広報こまつ」やホームページなどを活用し伝えていく。

また、梯川流域の支川鍋谷川や支川湊上川において、集中的な取り組みをしていただくということで、大変ありがたいと思っているが、今回の災害で木場潟周辺も広い範囲で冠水被害が発生しており、木場潟における対策もお願いしたい。

木場潟では、日用川の合流点において大雨により土砂が堆積し、中洲ができている。平常時のカヌー競技など水面利用にも土砂の堆積が支障となることから、今後の大雨による被害防止のためにも土砂の撤去をお願いしたい。

小松市としては、緊急治水対策プロジェクトについて、主に内水対策に取り組む予定であり、早期効果発現が期待される九竜橋川排水区のポンプ能力増強や石橋川排水区の導水路・遊水地の整備を前倒しで進めていくほか、流域治水の方針に基づき、関係機関と連携し内水浸水被害軽減の取り組みを進めていく。

さらにソフト面についても避難情報や避難所開設などの課題整理に着手する

など令和5年の出水期に向けて、防災対策の強化を重要課題として取り組んでいく。

これらの事業実施にあたり、防災・安全交付金等による財政支援も引き続き、ご協力をお願いしたい。

事務局より

今回、示した工程表については、事務局としても、なるべく早く進めていくよう、検討していく予定である。

石川県参事より

木場湯と日用川の合流点の土砂の撤去の件については、冬場の水位が低下する頃を見計らって実施を予定している。

能美市長より

令和4年8月4日の大雨から間もなく4カ月迎えようとしている。今朝の新聞の一面に梯川水系の治水工事が前倒しで行われるということが、大きくとり上げられており、大変心強く思った。今回のプロジェクトにおいても、寺畠町から梯川の合流点までの河道拡幅や堤防整備などの整備計画を盛り込んであり、人家の被害が多かった区域を対象に、早期対応を頂いたことにも感謝する。また、梯川の治水工事は、鍋谷川にも直結することからあわせてお礼を申し上げる。

令和4年8月4日には、午前4時から5時にかけて、時間86mmという過去経験をしたことがない大雨となり、被害は住宅が約120軒の床上床下浸水、農地は約20ヘクタールが冠水、12ヘクタールに土砂が流入し、また鍋谷川の頭首工15箇所が破損。加えて、史跡名所に土石流が発生するなど大変な被害が発生した。

これに伴って9月議会には、5億9300万円の補正を組んで承認いただき、12月の議会においても復旧工事を上程する予定である。

今ほど能美市の取り組みの説明があったが、それに加えて内水被害を防ぐ排水系統の見直しや調整池の設置にも取り組んでいく。

国や県の支援の基、関係機関や小松市ともしっかりと連携し、梯川水系緊急治水対策プロジェクトを一日も早く進めていきたい。

石川県参事より

今後早い段階で地元で事業内容を説明して理解を求めていくことが重要である。プロジェクトの実施について、国、県、市が連携して地元で説明する機会もでてくるので、三つの関係する機関が密接に連携して事業を理解してもらえよう協力して説明していく体制で進めていきたい。

その他機関より

特になし

(2) 今後の予定について

- 1) 事務局より今後の予定について口頭で説明。

- 「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」について、本検討部会終了後に本日中午に記者発表を実施。あわせて、金沢河川国道事務所のHPにて内容をアップし公表する。
- 12月上旬に第2回「手取川・梯川水系流域治水協議会」を书面開催し、とりまとめを報告。
- 3月上旬に第3回「手取川・梯川水系流域治水協議会」を開催。主に流域治水プロジェクトの取り組み状況と多段階浸水想定、水害リスクマップ公表に向けた確認を予定。

○質疑応答

特になし

6 閉会（挨拶：石川県参事）

本日の検討部会で梯川水系における再度災害防止のための治水対策として「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」をとりまとめ、必要な対策に関する大きな方向性を示すことができた。大きな節目だと考えている。

今後、一層各関係機関が連携を密接にとって、プロジェクトにそった対策を取り組むことにより、今後起こりえる甚大な災害から、地域住民の安全を確保することが重要と考えている。

引き続き、皆様の協力をお願いしたい。

以上で議事は完了となります。

